



保育の基本方針

あいうえ保育園

たかみや園／かすがぼる園

設置・運営会社

ありさんプロ株式会社

 ARISAN PRO



ありさんプロ株式会社

平成29年5月15日設立

ビジョン

代表が関わった仕事と音楽を活かして、お子さまの「こころとことばを育む」
保育園とライブハウス経営により、地域社会の未来に貢献する。

事業内容

あいうえ保育園たかみや／かすがばる

ライブカフェ・ダルセーニョ

スタジオ・ムーンウォーク

音楽企画制作／知育CD 代表作「ありさんサンバであいうえお」

代表取締役 吉田 明廣

大宰府小学校、学業院中学校、筑紫丘高等学校、九州工業大学金属加工学科卒
安川電機ロボット営業部から、パソコン・システムソフト開発会社、コン
ピュータ・グラフィックス開発会社等の外資系IT企業の営業管理職・支社長を
経て、元日本アイ・ビー・エム ビジネスコンサルタント



ひかり かがやく あなたに

ありさんプロ株式会社は、ビジネスコンサルタントであり、ジャズシンガーで作曲も手がけるアキヒロが、立ち上げた子ども支援プロジェクト企業です。

絵本を楽しむその先に本格的な音楽と知育を準備しています。

子供の読む能力をつけることが知育教育のスタートだと位置づけ、絵本「ありさんあいうえお」（旬報社）を出版。

日本独特のリズミカルな三行詩と共に現れる惹きつけられる可愛いキャラクターは子供が美しい日本語を身に付けるのを助けます。

精力的に作られる楽曲では子供の音楽と言葉に感応する耳を養います。

慣れ親しんだ絵本と同じ歌詞で音楽を奏でるオリジナルCD「ありさんサンバであいうえお」により、自然に言葉が身につきます。

楽しいダンスもあるよ。みんなで踊ろう！



オリジナルの「ありさんサンバであいうえお」のご紹介:

単なる語呂合わせではない、情緒情景が広がる覚えやすい三行詩(四四五)で構成。

楽しいサンバを入口として、詩心が興味を引き、読力の向上と豊かな感性が育つ。

清音以外の発音(濁音、半濁音など)を網羅した「ばびぶべブルース」ほか、楽しい楽曲集。



<保育の基本方針>

優しい子 元気な子 考える子

- 愛情あふれる優しい職員
- お子さま中心の価値を優先
- 生活習慣の確立と成長の手助け



養育

- お子さまの欲求に寄り添う
- 生活のリズムと習慣づくり
- 丁寧な慣らし



1. あいうえ保育園は**担当制**を取入れ、お子さま一人ひとりに寄り添います。
 1. お子さまの様々な**欲求を十分に満たす**ことが出来ます。
 2. 保育士との信頼関係が築かれ、お子さまは**安心感**を得ることが出来ます。
 3. さらに、愛着関係が形成され、**落ち着いて物事に集中**できるお子さまに育ちます。
 4. 自己肯定感により、**自ら考える**様になります。
 5. 信頼する保育士の声を**素直に聞き入**れます。
 6. 担当保育士に静か話しかけるので、**穏やかな心**を育みます。
 7. 寄り添う思いやりを受けて、他の子にも同じように寄り添い**優しく**なります。
2. 入園初日から、担当保育士が、ご家庭でのお子さまの様子をしっかりと**聞き取り**ます。
3. ご家庭での生活の様子や一日のリズムを念頭に、保育士が**親代わり**になるように努めます。
4. 入園時は環境が変わるので、慣らし保育はご家庭での日課に合わせる様にしています。無理が無いように、一人一人に合わせて、**短時間から**始まり、フルタイムの保育時間まで、徐々に伸ばして、保育園生活に**無理なく慣れる**ようにしています。
5. 排尿間隔には個人差があるので、**トイレトレーニング**を、その子に合わせて行っています。園児毎に排泄表を付けて把握し、保育士間で共有しています。
6. 身の回りの事を、**自分で出来る**様に支援します。洋服の着脱の方法などを、一緒に話しながら丁寧にいきます。
7. 肌に優しい布オムツを使用し、**濡れた感覚も感じる**様にしています。
8. 排泄物はぬるま湯で洗い流し、**清潔を保**っています。



健康

- 美味しい自然食
- 天候と環境を利用した体力づくり
- 全身から指先までの運動



1. 健康は、保育園の全ての活動の基礎です。
2. あいうえ保育園は、充実した調理設備と愛情あふれる栄養士による自園調理によって、美味しく栄養バランスが取れた、身体によい昼食、おやつを毎日提供しています。アレルギー食にも対応しています。
3. 栄養士が、福岡市保育園用のレシピを基本に、天然だしを使用し、地元の季節の食材を工夫して調理しています。アレルギー除去食にも対応しています。
4. お昼寝は、昼食後です。行事スケジュールを最優先にしない担当制保育により、一人一人のお子さまの時間に合わせて、目覚めたり、ウトウトと微睡む様子を見守っています。
5. 天気の良い日は、午前中に戸外で遊びます。但し、疲れ過ぎない程度とし、お子さまの興味が続く範囲で余裕を持って過ごします。
6. 投げる、走る、よーいどん、ボール遊び、水を使ったどろんこ砂遊びなど、楽しく運動しています。
7. 健康維持の為の全身運動について、ラジオ体操を実施しています。卒園後のお子さまの健康維持に無形の財産になるので、習慣づける様に毎日行います。
8. 街中への移動時にはお散歩用ロープを握ったり、カートに乗って、近隣の公園に行って遊びます。交通ルールを守り、声掛けをしながら、安全に最大限の注意を払います。町内散策を楽しみます。
9. 雨天時、室内の活動内容は、お友達との押し箱、低い平均台、サーキット運動など、心肺機能、筋力強化、運動能力に繋がる活動を取り入れています。
10. 身体バランス感覚、空間認識力を育てる遊び、目と手、手と足が協調して動かす協応動作などを取り入れています。



<大人用盛り付け>





安心

- 愛着と愛情に基づく把握と見守り
- 保護者との充実したコミュニケーション
- 防犯防災の生活環境

1. あいうえ保育園は担当制保育を軸としています。豊かな愛着による信頼関係が築かれ、情緒が安定します。大切なお子さまの心に隙間が出来ない様に、保育士が親代わりとなれるように頑張っています。
2. お家でのお子さまの様子を登園時にお伺いし、退園時には、園での様子を、お便り帳と共にお伝えしています。
3. 担当保育士が一人一人の存在を強く認識しています。お子さまを見失わないこと、そして第一次の適切な対処は、担当制ならではの、お子さまへの愛情と保育士への愛着が、防犯防災の基軸と考えています。
4. お子さまが困ったときには、まず信頼する担当保育士に伝える様になり状況を把握します。また、いけないことへの注意にも、比較的素直に聞いてくれる様になります。把握と見守りは安全安心の基盤となります。
5. 環境としての防犯防災対策
 1. たかみや園は鉄筋コンクリートビルの2階にあり入口は一つです。
 - (避難用すべり台、避難ハシゴは別に設置しています。)
 2. かすがばる園の園庭は塀で囲まれています。
 - (二階からの避難すべり台は、公道に直接出れる位置に設置しています。)
 3. 防犯カメラが設置されています。園内全室、園外全方位が確認出来ます。
6. お子さまと保育士のお互いの深い理解を基に、日々の様子を把握して、保護者と密に連絡をとっています。
7. トイレや食事など、自発的な活動を見守る中で、一人一人の成長に合わせた介助をしています。
ブログに毎日活動を掲載しているので、一日の活動の様子が分かります。



知育

- 脳の発達を促す遊び
- 言葉と心を育む五十音
- 考える力と集中力の基礎作り



1. 生活の営みの基礎は、**道具を使う**ことです。簡単な手作業やものを作ることを通して、よく考えること、両手と目の連携作業、そして他人との連携の能力を育てます。文化的で実り多いお子さまの未来を創造します。
 1. 手先、指先、手首、を利用した**机上遊び**(微細運動:外で体を動かす粗大運動に対して)を積極的に取り入れています。
 2. 形はめ、空け移し、のり貼り、挟み切り、ペグ差し、ポットン落とし、シール貼り、塗り絵、お絵描きなど、様々な机上遊びに取り組んでいます。
 3. 購買遊具と、保育士が工夫を凝らした**手作り遊具**を使います。形のいろいろ、重さ、重力、加速度、遠心力、物の大小、硬軟などを、保育士と一緒に遊びながら、把握する手助けをします。夢中になって遊び、観察することで、**物理現象、自然現象を理解**する様になり、脳の発育が促されます。

心と言葉の成長は、コミュニケーション能力として表れます。社会の一員として生きていく上で不可欠です。

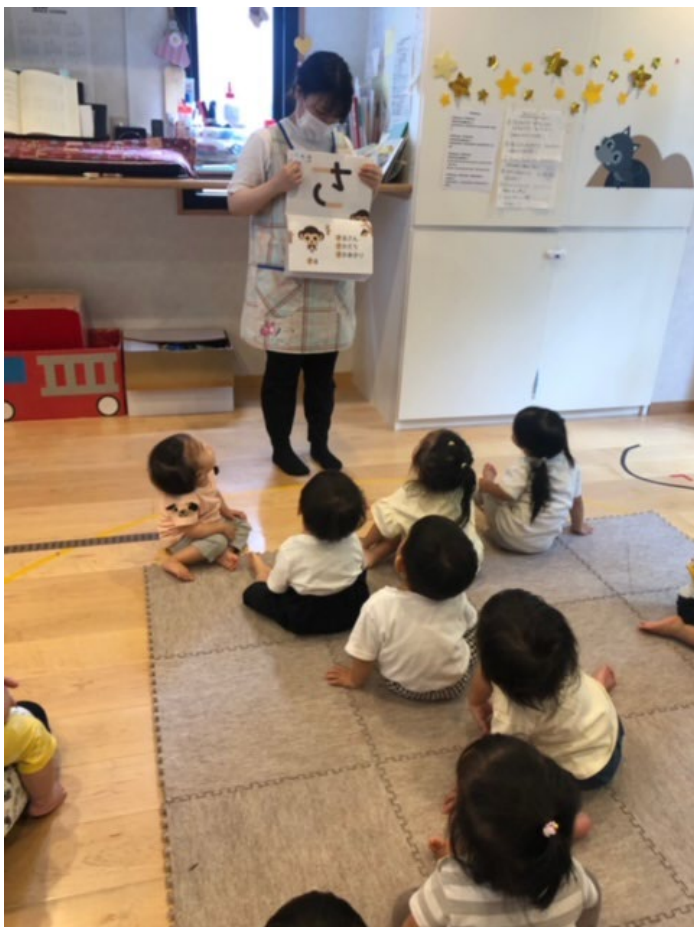
1. 50音を学ぶオリジナルの楽曲の他、わらべ歌や童謡を繰り返し歌うことで、日頃の会話にない言葉を覚え、**語彙が豊富**になります。
2. 保育士が心を込めて語りかける歌声は、お子さまの心を和ませ引き付けます。お互いの声の触れ合いによって、自分から**楽しく歌う**ことが出来ます。
3. 特に、ひらがな五十音に馴染むことを、全ての園児に行っています。未満児には一見早すぎるようですが、文字を何度も見て認識力が上り、**文字に興味**が出てきます。
4. 絵本の読み聞かせでも、読む声と絵だけでなく、そこにある文字も、しっかり読む様になります。こうして**読力の基礎**を作っています。

「道具を使うこと」、「言葉を操ること」で、大きな脳の発達を成し遂げた人間の進化の過程を、辿ることになります。あいうえ保育園は、お子さまが**豊かな人生**に向かう成長過程をサポートしています。これらのことは、複雑化する現代社会において、**遅く生きる糧**となるでしょう。





「あいさんサンバであいうえお」音楽に合わせて、歌と絵本が、みんな大好きです。





室内の遊びのいろいろ:
目と両手の指先を協調して、いろいろな作業に集中すると、脳の発達を促します。



ありさんプロ株式会社 代表取締役 吉田明廣 Akihiro Yoshida



1957年8月福岡県太宰府市出身

筑紫丘高等学校、九州工業大学卒、株式会社安川電機、外資系IT会社数社を経て、元日本IBMビジネスコンサルタント。音楽は常に共に有り、演奏活動を継続してきた。

4歳からピアノを習い、高校時代はクラシックギター同好会の会長を経験。その後、藤本晃氏にドラムを師事する。大学ではフュージョンドラマーとしてバンドを組み、ニューヨーク留学中に本場のジャズに触れる。帰国後は東京都内のジャズクラブにてジャムセッション等に参加。銀座ボッカチオでドラマーとして出演するなどの経験を積む。

ジャズボーカリストのバックを担当する内に、2005年からボーカルに傾倒。今井由美子、豊田チカ、オペラ歌手に唱法を学び、トータルなジャズのリズムをバイソン片山に師事する。ジャズクラブを中心にリーダーライブを主催する傍ら、ボーカルユニット「A2」結成、ビッグバンドフェスティバルにも出演。

若者の貧困を目の当たりにして、2014年から、楽しい音楽を通して、ことばと心を育む社会貢献型のエデュティメント・プロジェクト、ありさん企画を立ち上げ、こども向けの音楽作曲・プロデュース、絵本の著作活動、施設訪問を含む演奏活動を精力的に展開。2016年1月には、共同著作者として、ひらがなえほん「ありさんあいうえお」（出版：旬報社）を出版。音楽アルバムCD「Singin Life」（2008年）、「ありさんサンバであいうえお」（2017年）をリリースした。

2018年4月より、保育園経営にも活動範囲を広げている。新曲「ABC Soul Kids」を作るなど、現在はありさんプロ株式会社代表取締役社長として、活動中である。

